

2018

April

# 4 ガバナー月信

## Contents

ガバナーメッセージ	1
社会奉仕委員会セミナー報告	2
会長エレクト研修セミナー報告	3
米山記念奨学生終了式・歓送会報告	5
ロータリー財団地区奨学生候補者 オリエンテーション報告	6
新入会員セミナー報告	7
社会奉仕活動報告書（十日町RC）	8
4月地区の予定／新会員／訃報	9
会員数及び出席報告	10
コーディネーターニュース	11
ハイライトよねやま	12
文庫通信	14

# Rotary



国際ロータリー第 2560 地区 2017-2018 年度

新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-MAIL [k.shinbo@rid2560niigata.jp](mailto:k.shinbo@rid2560niigata.jp)



ロータリー：  
変化をもたらす





## 母子と健康 月間にあたり

2017-2018 年度 ガバナー  
新保 清久 (新潟万代 R C)

わが RI2560 地区のロータリアンは、海外の貧困や疾病で苦しんでいる母子の健康についてもっと関心を持ち、行動しましょう。

### 重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが母子の健康を改善するのを支援します。

1. 5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減。
2. 妊婦の死亡率の削減。
3. より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、地域社会の医療/保健関係のリーダーと医療提供者を対象とした母子の健康に関する研修。
4. 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金の支援。

### 子供の健康

疾病、栄養失調、医療の不備、不適切な衛生設備が原因で毎年、5歳未満の子ども 630 万人が亡くなっています。

#### 《行動しましょう》

- ・ 予防ワクチンや抗生物質を提供するプログラムを支援する。
- ・ 抗レトロウイルス薬粉ミルクでの育児を奨励することで、母から子への HIV 感染を予防する。
- ・ 母乳の症例栄養摂取の大切さを呼びかける。
- ・ 汚染水による下痢性疾患によって栄養失調が悪化するため水と衛生を改善して子供の栄養促進を図る。

### 妊婦と出産

サハラ以南のアフリカでは、39 人に 1 人の女性が妊娠中または出産による合併症で亡くなっています。避妊を望む女性のうち、2 億 2,200 万人が安全で効果的な避妊法を利用できません。リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）の医療と研修を充実させることにより妊産婦の死亡を 80% 防ぐことができます。

#### 《行動しましょう》

- ・ 医療従事者に出産に関する情報資料を提供する。
- ・ 医療従事者を対象として公認の研修プログラムを支援する。
- ・ 避妊教育や避妊具の提供といったニーズを満たすだけで妊婦の死亡率を 3 分の 1 近く減らすことができる。



## R I 第 2560 地区社会奉仕委員会セミナー開催

社会奉仕委員会  
 委員  
 田鹿 紀之（新潟南 R C）

RI 第 2560 地区社会奉仕委員会では、2018 年 2 月 24 日（土）オークラホテル新潟にて、「障がい者就労促進・地区活動財団資金活用セミナー」を開催しました。  
 当日は 36 クラブから会長、社会奉仕委員長を中心に 54 名の参加を頂き、約 3 時間のセミナーを熱心に聴講頂きました。

本セミナー第一部「障がい者就労促進セミナー」では、ハローワーク新潟主任雇用指導官の今野靖様から『障がい者雇用対策について』、また新潟障がい者職業センター所長余野木琢也様から『就労支援機関の取組みについて』、それぞれ資料に基づき丁寧なご説明を頂きました。

最後に新潟県労政雇用課関田隆弘様から、『新潟県の障がい者雇用対策について』説明ならびに実際に雇用に取り組んだ企業の状況を映像でご紹介いただきました。

障がい者の雇用を進めることは、共生社会の実現と雇用の多様性につながることであり、また企業としても貴重な労働力の確保につながると同時に、社会的責任を果たすこととなります。このセミナーでの情報を生かし、支援機関との連携によりロータリークラブ会員においても積極的に取り組まれることを期待いたします。



続いて第二部では「地区活動財団資金活用」について社会奉仕委員会小出委員から、活用促進に向けて仕組みや申込み方法などについて説明がありました。

さらに昨年度この資金を活用された三条北 RC の社会奉仕委員長西村様から、資金申請における考え方や留意事項などについてご説明を頂き、さらに理解を深めることができました。

これを機会にこの資金を有効に活用して、ロータリークラブの、地域社会への奉仕の精神に則り積極的に取り組んでいただければありがたいです。

地区社会奉仕委員会では、昨年から取り組んでいる「地球環境保全のための植樹活動」を、今年 5 月 12 日（土）に村上市で、5 月 26 日（土）に新潟市での 2 回予定しております。後日ご案内いたしますので、是非とも大勢の会員の参加をお待ちしております。

## 川瀬年度 クラブ会長エレクト研修セミナー 終了報告



会長エレクト研修セミナー  
実行委員長  
杉山 幸英（三条RC）

晴れ渡る晴天。大雪の記憶を忘れさせる素晴らしい青空。きっと、良い PETS になるとインスピレーション。

3月24日は、ホストクラブ三条ロータリークラブ、コホストクラブ三条南ロータリークラブ、三条北ロータリークラブ、三条東ロータリークラブにて開催いたしました。

国際ロータリー2018-19年度テーマを「BE THE INSPIRATION」インスピレーションになろうとバリー・ラシン会長が提示されました。ポールハリスが職業倫理を高潔なものにするという中で親睦や友情、そして地域社会との繋がりの中での奉仕活動等々。全てはインスピレーションから出発していること、ロータリーは単なる「モデル」ではなく「インスピレーション」であることを川瀬ガバナーエレクトにより丁寧かつ大胆に教授を受けました。

「さあ、皆さん一回だけ大きな声でご唱和ください。 “BE THE INSPIRATION”」この一声で、緊張感と責任感そして川瀬年度で心をひとつにする思いが高まり胸が暑くなりましたと語られた会長エレクトが多数おられました。川瀬ガバナーエレクトは更に地区のモットーを「自らのロータリーストーリーを作りましょう」と国際ロータリーの目的である

- 1、クラブのサポートと強化
- 2、人道的奉仕の重点化と増加
- 3、公共イメージと認知度の向上

この3目標をベースに地区運営方針を定められ発表いたしました。会長エレクト各位にはインスピレーションで各項目をクリアする計画と活動を強調され基本方針発表とされました。



午後からは、ガバナー補佐と担当分区の会長エレクトとの名刺交換など挨拶を皮切りに、田中研修リーダーを座長に、クラブ戦略計画推進委員会 大澤力



委員長、広報・公共イメージ向上委員会 安藤幸夫委員長、奉仕プロジェクト委員会 菊池涉委員長が地区運営方針の専門委員会として具体的に解説する重点セミナーを開催し、より理



解を深めていただきました。実は、この重点セミナーは5月19日開催の地区研修・協議会に連結いたしますので乞うご期待です。



懇親会は、緊張の1日を過ごされた会長エレクト、幹事エレクトが会員同士ゆっくり親睦を深めるため、あえてアトラクション無しにいたしました。また、スムーズで有意義な進行が出来たのは、各委員会委員長による時間とおりの発表やガバナー補佐各位の抱負発表が充実していたからであることは言うまでもありません。



そして、準備に全面協力いただきました新保年度三役および実行委員会各位、事務局の皆さんにはこの場を借りて感謝申し上げます。最後に、前日まで会場準備、リハーサルに汗した三条ロータリークラブ各位の集結力と機転の利く行動力に、支えられPETSを無事終了させることが出来ました。晴天の朝に感じたインスピレーションは現実となったことをつけそえます。





## 2017-2018 年度 米山記念奨学生終了式・歓送会 報告

米山記念奨学委員会  
奨学生・学友委員長  
吉村 鳳一（新潟西RC）

去る2016年3月3日(土)新潟市のホテルイタリア軒に於いて奨学生終了式・歓送会が開催され、奨学生16名、学友会5名、カウンセラー16名、委員長1名、担当教員6名、地区役員・事務局15名の計59名の参加をいただきました。

新保ガバナーのご挨拶に続き、宇尾野米山記念奨学委員長のご挨拶ののち、終了されます奨学生お一人お一人に新保ガバナーより終了証書が授与されました。奨学生を代表してヒシグトグトフ、エンフジンさんより挨拶をいただきました。

カウンセラーの皆様へ感謝状の授与を新保ガバナーよりカウンセラーを代表しまして長島 浩二さん(長岡RC)に送られ、ご挨拶をいただきました。のちに、指導教員を代表しまして、長岡大学 松本 和明教授(長岡東RC)よりご挨拶をいただき、丸山米山記念奨学副委員長より贈る言葉を頂きました。終了式後、皆で記念写真を撮りました。

歓送会では、宇尾野米山記念奨学委員長の発声により盃が開けられました。終了される奨学生の皆様よりお一人ずつ、想いや、思い出などを話していただき、和気藹々とした雰囲気の中、学友会の方々からお話を頂き、会が進行しました。最後に手に手つないでを合唱して、中締め挨拶を房文慧(ファンウェンウィー)学友会会長の三本締めで終了しました。

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍していただき、ロータリー運動の良き理解者となってほしいと切に願います。ご出席いただきました皆様大変ありがとうございました。

米山記念奨学生は、ロータリアンお一人お一人の大切なお寄付によって支えられております。今後とも厚いご支援ご声援をお願い致します。





## ロータリー財団地区奨学生候補者オリエンテーション

ロータリー財団委員会  
奨学金委員長  
齋藤 秀明（新潟南RC）

本年も皆様からの寄付により地区奨学生を送り出すことができそうです。本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

地区奨学生は海外にて勉学を志す方に、上限 15000 ドルを支給する事で、夢の実現、スキルUPに貢献する事業です。また親善大使として、留学地区のロータリークラブとの交流を図り、スポンサークラブ、2560 地区（新潟）そして日本の魅力を伝え、相互理解を深める事を目的にしております。

去る 3 月 10 日万代シルバーホテルにおきまして 2017-2018 年度地区奨学生候補者雨木 綾さん、そしてスポンサークラブの分水 RC の久住会長、杉田カウンセラーをお招きしてオリエンテーションを開催しました。

新保ガバナー、佐々木財団委員長より激励を込めた挨拶の後、奨学生候補者の雨木さんより決意を込めた初々しい挨拶をいただきました。続いて、高橋学友会長より、今後のスケジュールや奨学生の役割と責務、親善大使として留学先のロータリークラブへの訪問に付いての心得などについて、ご自身の体験を踏まえてお話を頂きました。

その後 2016-2017 年度に地区奨学生として英語のスキルUPの為にオーストラリアに留学された鎌田 由佳さんから体験発表をいただきました。

鎌田さんからは、最初は英語を聞き取ることすら出来なかったが、徐々に慣れ英語を介して他の国の人たちとコミュニケーションが図れるようになり自分とは違う考え方や価値観を知ることができ、大変嬉しかったこと、子供たちにも英語のすばらしさを伝えてグローバルな世界で活躍できる人材を育てたい事をお話いただきました。

また親善大使として北メルボルンロータリークラブを始めとするいくつかのクラブとの交流についてお話をいただきました。例会にて温かく迎えていただいた事、ブックマーケットや Camberwell マーケットなどの奉仕活動に参加したこと、そして「Follow your heart」「人生は一度きりだから自分の心に正直に」そんな言葉も頂いたこと。そして現地の高校 2・3 年生に東日本大震災について自問自答しながらも話をさせてもらい、最後にぼくもいつか日本に行ってみたいと言ってくれたこと、今一度「生かされた私はどう生きるべきか」を考え直した事などを話をさせていただきました。最後にロータリーの奨学生でなければ経験できない事が本当に沢山あるので、雨木さんもこの機会を存分に生かしてくださいとエールを送っていただきました。

我々も奨学生を派遣する意義を改めて感じさせていただきました。





## 新入会員（入会1年～3年）研修セミナー

会員増強委員会  
委員

高橋 主計（津南 RC）

3月17日ホテルオークラにて、山本和則会員増強委員長主催において、新保ガバナーをはじめ11名の御来賓に役員6名、会員120名のご参加をいただき講師に市川伊三夫2750地区パストガバナーをお迎えし角南委員の司会にて、セミナーが開会しました。

まず、新保ガバナーより新会員の為にどんなセミナーを行えば会員増強ができ、退会者が無くなるかを今日のセミナーでしっかり勉強してほしいとご挨拶いただきました。山本委員長より3年間で343名の方に入会いただいたが、純増は64名しかいない。退会者が多く高齢化率が多いのもこの会の特徴である。また、入会後に直ぐ、退会する会員もいる。米山と財団の目的をしっかり勉強して頂きたいとご挨拶いただきました。

市川パストガバナーの講演では、「新しい時代の生き方」という演題で講演していただきました。

市川先生は、1928年のお生まれながら職歴もロータリー歴も現役で活躍されています。まさに、スーパースターの存在感のあるお話をいただきました。新入会員の皆様にお話するのは光栄な事。ロータリーは、あなたの為という事である。本田宗一郎さんとは、友達で永くお付き合いをさせていただいた。社員は、会社の為に働く、会社は社員の為に育つ。この言葉は、社会でもロータリーでも通用する。ロータリーを順応する事が人生を楽しんで生きる事。ありがたい存在とは、人間にとって友である。友の為に我は泣き、我が喜びに友は舞う。本日からあなたをフレンドと呼ぶ事をお許し下さい。友が多い我が幸せロータリーのおかげ。もし、私にロータリーの友が居なかったら、今の私はどうなっていたか。講演は、熱気が入って少しオーバーして終了しました。

それから楽しい懇親会が羽深委員の司会で始まりました。川瀬ガバナーエレクトの乾杯で始まり参加者は、席を移動して懇親を深めて盛り上がりました。全員で「手

に手つないで」を合唱、手をつなぎ、出会いに感謝をして大谷ガバナーノミニーの中締めで閉会となりました。

このセミナー参加が、ロータリーの意義を理解して、会員が増強する事をお祈りします。







## 奨学生サリーさんとの1年間

十日町RC  
会長 富井 教雄

当クラブでは前年度（2016～2017）の4月から今年度3月まで地区奨学生としてモンゴルから長岡大学に留学していたサロールトゥグスさん（サリーさん）の世話クラブとなり、会員の山内正胤君がカウンセラーとなりました。個人的に過去の奨学生とは違うな～という印象を受けました。それは、彼女は毎月の例会に出席して会員と交流し、奨学金を受け取るというだけでなく、十日町市全体の交流に積極的であったということです。もちろんカウンセラーの影響も多く受けていたと思いますが、本人の資質が大であると思います。サリーさんの1年間をご紹介します。



特に十日町市が誇る国宝火焰型土器に大変興味をもたれ、博物館を3回も訪れて館長から熱心に縄文文化を学んでおりました。珍しい体験としては当市にある妻有焼陶芸センターでろくろに挑戦し、ご飯茶碗を制作しました。また、当クラブの懇親の場にも積極的に参加して交流を深めており、特に3名のロータリー女性会員とは会話が弾んでいたようで、皆さん自分の娘のように可愛がっていたのではないのでしょうか。地場産業のきもの関連では市内の工場見学、振袖の試着体験をし、5月のきものまつりにはきものを着て参加したり、8月の十日町大まつりには母親をモンゴルから招いて二人とも浴衣でお神輿の渡御に加わったり、さらには市民茶会へも参加し日本のまつりや「和」の文化を楽しんでおられました。そして1年間の集大成ともいえるのが2月の十日町雪まつり「きもの女王コンテスト2018」への参加でした。

本人の意思で申し込んだそうですが、みごと大勢の中から予選を突破し、本選会への出場となりました。当クラブでもバックアップし、最終的に上位3人に選出されるのでは？と期待感が高まりました。現実には厳しく落選となりましたが、本人は良い経験だったと前向きに捉え、支えてくれた周囲の人達へ感謝の意を伝えてくれました。さらに、市内の2つの小学校の国際理解授業に講師としてモンゴルを紹介し最後の奉仕となりました。

今後は大学院に進むそうですが、ロータリー奨学生としてモンゴルと日本との懸け橋となり立派に活躍されることでしょう。1年間の交流に感謝します。



## 4 月地区の予定 【母子の健康月間】

2018 年 4 月		地区主要行事	会場
7	(土)	新潟東 RC 創立 60 周年記念式典	ANAクラウンプラザホテル新潟
14	(土)	直江津 RC 創立 60 周年記念式典	デュオ・セレソ
21	(土)	新潟中央 RC 創立 25 周年記念式典	ANAクラウンプラザホテル新潟
21	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟

## 新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新潟	山田 周	2018.2.27	(株) JTB 関東法人営業	新潟支店長
新潟万代	杉谷 浩一	2018.3.5	(株) スギタニ塗装	代表取締役
三条南	布施 純也	2018.2.26	カヴァーワーク (株)	専務取締役
栃尾	千野 浩一	2018.3.1	(有) 千野工務店	代表取締役
新井	竹内 正明	2018.2.28	(株) 八十二銀行 新井支店	支店長
高田東	真鍋 隆彦	2018.2.19	住友生命保険相互会社 長岡支社	上越営業部長
越後春日山	滝澤 秀樹	2018.2.15	(有) 地理測量設計社	代表取締役

## 訃報

新潟 RC 加賀田 亮一 様                      ご逝去日：2018 年 2 月 25 日  
新潟マテリアル(株) 代表取締役社長

見附 RC 笠松 克年 様                      ご逝去日：2018 年 3 月 1 日  
(株)ミカサ 代表取締役

心よりご冥福をお祈りいたします。

第2560地区 2017-18年度 2月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	2月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	／	84.24	364	383	37	19
新発田	3	95.09	93	98	0	5
村上	4	86.18	37	38	9	1
水原	4	79.59	27	27	0	0
中条	4	85.81	34	37	3	3
新発田城南	4	88.61	41	42	4	1
豊栄	4	79.60	26	27	3	1
新発田中央	4	76.43	45	50	5	5
中条胎内	4	84.72	33	36	7	3
村上岩船	3	82.14	28	28	6	0
第2分区(9クラブ)	／	80.57	441	447	20	6
新潟	4	87.60	86	91	0	5
新潟東	4	83.77	62	59	8	-3
新潟南	4	75.06	99	105	2	6
佐渡	4	89.30	7	7	0	0
新潟西	4	70.69	41	39	1	-2
佐渡南	4	71.70	41	41	4	0
新潟北	3	86.05	43	43	0	0
新潟中央	4	89.00	24	25	0	1
新潟万代	3	71.93	38	37	5	-1
第3分区(6クラブ)	／	70.48	122	120	6	-2
新津	4	70.59	18	17	0	-1
村松	4	84.09	11	11	0	0
五泉	4	66.06	17	14	1	-3
白根	4	77.85	37	37	2	0
新津中央	4	71.78	29	31	2	2
阿賀野川ライン	4	52.50	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	／	73.66	368	373	23	5
三条	3	86.13	57	60	0	3
燕	3	66.66	33	34	1	1
加茂	4	70.53	29	27	4	-2
三条南	2	87.90	48	49	3	1
分水	4	65.81	31	30	3	-1
見附	4	70.00	20	21	1	1
吉田	3	77.70	33	30	2	-3
三条北	4	73.46	64	65	2	1
巻	4	73.30	14	17	1	3
田上あじさい	4	67.90	7	7	1	0
三条東	3	70.84	32	33	5	1

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	2月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	／	82.60	314	324	23	10
長岡	4	87.13	39	47	1	8
柏崎	4	71.09	45	45	0	0
長岡東	3	91.60	66	70	5	4
柏崎東	3	95.18	50	48	4	-2
栃尾	4	78.38	21	21	0	0
長岡西	4	79.88	57	57	5	0
柏崎中央	3	74.97	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	78.33	154	158	11	4
十日町	3	94.11	34	34	3	0
小千谷	4	59.45	38	39	5	1
雪国魚沼	4	70.20	25	27	2	2
十日町北	3	87.50	23	24	0	1
津南	3	82.72	27	27	1	0
越後魚沼	3	76.00	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)	／	79.96	320	328	25	8
高田	4	98.57	66	66	0	0
直江津	4	76.71	48	53	4	5
新井	4	71.72	29	31	3	2
糸魚川	4	60.46	42	43	3	1
高田東	2	82.06	38	39	3	1
糸魚川中央	4	88.24	34	34	0	0
頸北	3	78.60	14	15	1	1
越後春日山	4	83.30	49	47	11	-2

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,083	人
2月末 会員数	2,133	人
女性会員数	145	人
純増減会員数	50	人
当月平均出席率	78.65	%





## ■公共イメージの観点からの奉仕活動

2017年4月号コーディネーターニュースへ、私は「ロータリーを正しく伝える為に、まずはロータリーの目的を分かり易く伝えるべき」と記載しました。「ロータリーの目的」を分かり易く表すと



### 1. 知り合いを広め奉仕の機会とする

⇒新しい仲間を増やして共に奉仕活動しよう。

### 2. 職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものにする。

⇒自分の職業をもっと磨きましょう。自分の職業を磨くには、まずは自分を磨く必要が有ります。つまり自分と自分の職業を磨きましょう。

⇒昨今は、職業奉仕について触れる機会が少なくなりました。

「職業奉仕云々より、会員増強と寄付を多くしよう」と声高に仰る方も居ますが、私は「会員は自分の基盤である職業をしっかり磨く事がまず大切で、その上に社会奉仕や国際奉仕が有る」事が望ましいと考えています。

### 3. 社会生活に於いて奉仕の理念を実行する

⇒地域社会に於いて、自分個人やクラブが地域に必要な事で周囲(自治体や他の団体)が手を差し伸べていない事業を探し、実行する事と考えます。

○永年に亘って実績を重ねてきた社会奉仕も、たまには見直したら如何でしょうか？

⇒始めた時には地域で必要な事で周囲が手を差し伸べていなかった。しかし今では社会情勢が変わり、あまり必要では無くなった、或は周囲も熱心に行っているような場合には、ロータリーは一歩下がって、別の案件を探してみる事も必要と考えます。

⇒逆に、もっと大々的に続ける必要があるのに、ロータリーだけでは成し遂げる事が出来ない大きな事業になる場合には、他の団体と共同で奉仕する事も考えてみましょう。

共同して仕事すると、相手団体の方々にロータリーの事をよく理解して頂けるでしょう。

### 4. ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する

⇒これは言葉の通りですが、今はポリオ撲滅に全力投球。この事をもっとアピールしましょう。

ロータリー公共イメージコーディネーター 第1ゾーン 鈴木秀憲

## ■ロータリーの創立記念日に因んで

2月はロータリークラブにとって創立記念の月でありました。今年で113周年を迎えることとなりました。さて、創立記念日とは、創立者の思いを再認識するとともに、今日までの変遷に思いを馳せ、また今後を考える機会でもあります。私の地区で、2月23日に必ずIMを行う区分があります。実にロータリーらしい企画だと思っております。クラブを支えている会員が、創設者の思いを一年に一度、お互いに認識する場を必ず設けているということで、とりわけ、新入会員にとっては絶好の機会であり、ロータリーのDNAを継承していく営みであるとも言えます。そして、これから地区大会が開催される地区、ロータリーの1年の締めくくりの国際ロータリー年次大会トロント大会の開催も間近です。地区大会は、ガバナーがRI会長のメッセージを伝える重要な場であり、地区の会員が一堂に集まり、各クラブが取り組んでいることを発表し、評価し合う場でもあり、そして研修の場でもありますので積極的に参加してください。国際ロータリー年次大会にも積極的に参加ください。得るものは大きいです。



今日はロータリーの組織以外でも会員との交流や研修、奉仕に取り組んでいる組織が沢山あります。そうした中でロータリーに更なる興味を持って頂くためには、会員はもとより会員予定者にも声を大にして伝えていく義務があると思います。その為には、価値ある例会、地区大会、IM、RLI等の研修に積極的に参加することが必須となります。最初からロータリーを知り尽くしている方などおりません。だからこそ是非「My ROTARY」を活用し、誰もがロータリーの知識者になっていただきたいと切に願っております。また、ゾーンごとにロータリーコーディネーターがおりますので、是非ともご活用ください。

ロータリーコーディネーター補佐 第1ゾーン 菅原裕典



# ハイライトよねやま

Vol.216

## 寄付金速報 — 下半期の寄付状況 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて4.7%増（普通寄付金：0.6%増、特別寄付金：7.1%増）、約5千万円の増加となりました。2月単月の寄付額も、この3年間で最も高い額となり、財団設立50周年の下半期は順調に推移してい

ます。多くのロータリアン、学友からのご支援に心より御礼申し上げます。今年度も残り3カ月半となりました。今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

## マレーシア米山学友会総会

3月4日、マレーシア米山学友会（会長：黄麗容さん）の総会がペナンで開催されました。2016年9月の創立総会以来、初めての総会となり、学友17人のほか、日本在住の学友2人がスカイプで参加し、日本からは第2590地区前米山記念奨学委員長の高橋 敏昭氏ご夫妻が参加しました。

総会は日本語で進行され、事業報告・会計報告がなされたほか、5月からは毎月の会合を再開するなどの活動計画が活発に話し合われました。創立時の会員21人から倍増し、現在は会員数58人。黄会長は、「創立時にも来て下さった高橋さんご夫妻に学友会としての成長を

見ていただけて嬉しい。首都クアラルンプールでも会合を増やし、養護施設訪問など奉仕活動も計画していきたい」と、今後のさらなる飛躍を誓いました。



## 「こどもの日」に小学校支援 — タイ米山学友会 —

タイの「こどもの日」にあたる1月13日、タイ米山学友会の学友・家族30人がスパンブリー県のワットブングカー小学校を訪問して、支援プロジェクトを行いました。

同学友会が昨年初めてこの学校で奉仕活動を行った際、バンコク近郊にも関わらず、子ども



の学ぶ環境として足りないものが多いことに驚き、必要なものが揃うま

で支援を続けることを決めたそうです。今回も、学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集めた浄水器・ウォータークーラー・冷蔵庫・スポーツ用品・制服、文房具など多くの物資を寄贈しました。また、育ち盛りの児童たちのために、学友会からランチやアイスを提供。米山のシンボルマークをあしらった特製のTシャツも全員にプレゼントし、食後は共にゲームなどをして、笑顔のひとときを過ごしました。

同学友会のシュティカーン・テプサン会長は、「全校児童と保護者の皆さんが、私たちの訪問を心待ちにしてくれていました。子どもたちも昨年より打ち解けてくれて、充実した交流をもつことができました」と、語りました。

第 2620 地区（山梨県・静岡県）米山学友会が 1 月 8 日、スリランカへ第 2 回目の奉仕活動を実施しました。

今回の活動は「スリランカへの医療器具寄贈プロジェクト」です。ラシタ・エリヤワ会長（スリランカ／甲府南 RC）および有志メンバーとロータリアン計 5 人が、首都コロンボから 200km 以上離れた山岳地にあるテリペへ村を訪問。医師 1 人、医療スタッフ 8 人という小さな病院に、鼻腔栄養チューブ・血圧計・縫合セット・点滴スタンドなどさまざまな医療器具・設



備を届けました。さらに、同村にある Siduhath 学校に通う 1～6 年生 210 人に文具セットを寄贈、

記念植樹をしました。村人も多数集まり、熱烈に歓迎してくれたということです。ラシタ会長は、「この活動資金は、第 2620 地区のロータリアンや米山学友・奨学生、第 2530 地区（福島県）米山学友会、台湾米山学友会などの協力によるもの。現地での準備に協力いた

だいた学友のご家族など、皆さんに心から感謝します。これからも、有意義な活動を企画していきたい」としています。

## ネパール米山学友会が無料医療キャンプを実施

ネパール米山学友会（RYSAN）では、2015 年 4 月に発生したネパール大地震の際、日本のロータリー地区・クラブ、ロータリアン、米山奨学生・学友から寄せられた総額 1,400 万円超の義援金を元に、被災学生への奨学支援や被災地への農業研修など、さまざまな復興支援活動を行っています。1 月 6 日には、その新たな施策として、無料医療キャンプを実施しました。

この医療キャンプは、RYSAN が企画し、カトマンズの脳神経専門病院やその関連機関との連携によって実現したもの。当日、RYSAN からは会長のビジャヤ・パントさん（1995-97／広島東南 RC）と会計担当役員のディーパ・ディタルさん（2009-10／岐阜西 RC）の 2 人が参加。高校生の家族 3 人も同行し、データの記録や文書

管理、写真係など、ボランティアとして活躍しました。

主に、ダーディン郡の恵まれない少数民族と地震で被災した地域の人々を対象に実施された今回のキャンプで、無料の治療・投薬を受けた患者数は、251 人にのびりました。RYSAN では来年も、地震で大きな被害を受けた地域で、同様の医療キャンプを行う予定です。



## 【訃報】理事 勝山國太郎氏（第 2620 地区）逝去

理事の勝山國太郎氏（第 2620 地区）が 2 月 26 日にご逝去されました。享年 88 歳でした。勝山氏は、1999-2000 年度の国際ロータリー第 2620 地区ガバナーで、1998-2001 年度に評議員、

また、2005 年 8 月からは理事に就任されて以降、13 年間にわたり、理事としてご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

平成30年3月23日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会  
委員長 大塚信郎

拝啓

春暖の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。  
このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。  
なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致します。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は[申込先]もご記載下さるようお願い致します。

## 文庫通信 (367号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 文庫資料から (2)

- ◎ 「ロータリーを語る」 ロータリー復帰協議会 1948 45p
- ◎ 「奉仕こそ我がつとめ」 小林雅一訳 東京R.C. 1956 143p
- ◎ 「そろばんと論語」 塚本義隆 1974 60p
- ◎ 「はげすずめ」 安野譲次 1974 139p
- ◎ 「ロータリーの心得」 ガイ・ガンデッカー著；田中毅訳 ー 33p
- ◎ 「やさしいロータリーの話-間柄の美学-」 佐藤千壽 1984 27p
- ◎ 「The Meaning of Rotary ロータリー解析」 Vivian Carter著；田中毅訳 1999 99p
- ◎ 「ロータリーへの道 [三訂版]」 ポール・ハリス著；柴田實訳 成田R. C. 2011 372p
- ◎ 『ロータリーの理想と友愛』 読本 富田英壽編著 2016 274p

[上記申込先：ロータリー文庫]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日





ROTARY  
INTERNATIONAL  
DISTRICT 2560

---

国際ロータリー第 2560 地区 2017-18 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟  
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565 E-mail: k.shinbo@rid2560niigata.jp  
ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>